



## 2021年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月11日

上場会社名 株式会社 ジャストプランニング  
 コード番号 4287 URL <https://www.justweb.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 望

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 佐久間 宏

TEL 03-3730-1041

四半期報告書提出予定日 2020年9月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第2四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	1,037	15.2	93	30.7	97	29.9	5	94.4
2020年1月期第2四半期	1,223	13.7	135	23.0	138	21.8	90	26.3

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 7百万円 ( 91.2%) 2020年1月期第2四半期 88百万円 ( 26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	0.40	0.40
2020年1月期第2四半期	7.13	7.07

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期第2四半期	3,320	3,066	92.2	240.42
2020年1月期	3,437	3,152	91.6	247.21

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 3,062百万円 2020年1月期 3,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		0.00		7.40	7.40
2021年1月期		0.00			
2021年1月期(予想)				7.40	7.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

2021年1月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しは不透明であり、現時点で連結業績予想の合理的な算定が困難であることから公表しておりません。今後連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期2Q	12,736,338 株	2020年1月期	12,736,338 株
期末自己株式数	2021年1月期2Q	246 株	2020年1月期	246 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期2Q	12,736,092 株	2020年1月期2Q	12,706,092 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信 添付書類 3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 経営成績の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により景気は緩やかな回復基調へと推移すると予想されたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界経済に係る先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループでは、ASPによるアウトソーシング事業とインターネットを活用したシステムソリューション事業に取り組み、外食産業のみならず、新業態への売上管理・勤怠管理・発注管理等のASPシステムの展開をしております。

昨今のインターネット環境におきましては、タブレット端末やスマートフォン等のデバイスの進化や急速な普及により、外食産業においても様々なビジネスシーンで活用されるケースが認められております。このような背景を踏まえ、ASP事業「まかせてネット」をシリーズ化し、「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」および、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の拡販・運営をいたしております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高1,037,980千円(前年同四半期比15.2%減)、営業利益93,684千円(同30.7%減)となりました。経常利益97,028千円(同29.9%減)、貸付金に対する貸倒引当金繰入額47,892千円、新型コロナウイルスの影響に伴う株価の下落に対する投資有価証券評価損9,427千円、休業外食店舗設備の固定資産に対する減損損失10,298千円を特別損失として計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益5,080千円(同94.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ASP事業)

当社グループにおけるASP事業は1999年8月より外食業界向けに「まかせてネット」というサービス名で、サービスを展開しております。外食店舗におけるPOSシステム、勤怠管理システム、発注システム等の情報を、当社ASPセンターで受信し、各企業データシステムへと展開して、売上管理・勤怠管理・発注管理等の本部システムを稼働させ、外食本部からは、インターネット経由で当社ASPセンターにアクセスすることにより本部システムを利用することができるようになっております。

当第2四半期連結累計期間においては、ASP事業「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」及び、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の拡販・運営を行っております。また、2018年2月に新規事業「Putmenu」を展開するため、プットメニュー株式会社を当社連結子会社として設立いたしました。「Putmenu」はIoTを活用したサービスで、スマートフォンアプリ「Putmenu」を使うことで商品の注文と決済をオンラインで実現し業務を効率化するサービスとなっております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休業要請により、休業を余儀なくされた当社取引先様に対し、第1四半期連結累計期間に引き続き5月まで事業継続支援として休業店舗のASP利用料請求を中止しました。この結果、5月のASP利用料の売上は前年比で、16.0%減。また、並行してテイクアウト業態のためのシステム化提案等柔軟な対応も行い、6月以降のASP利用料の売上は、前年比で6月は2.7%増、7月は3.7%増となり、徐々に回復基調へと推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のASP事業の売上は395,785千円(前年同四半期比8.3%減)、セグメント利益は266,103千円(同11.2%減)となりました。

#### (システムソリューション事業)

当社グループでは、1994年3月の設立以来、外食業界向けの店舗システム及び本部システム(POSシステム、出勤システム、食材発注システム)等の業務システム構築全般にソフトウェアの企画・開発・販売を行ってまいりました。システムソリューション事業の業務内容は、外食業界の業務システムにおけるソフトウェア受託開発、POSシステム導入におけるシステム設定作業やシステム運用・業務コンサルティングやそれに伴うハードウェア導入、当社POSシステムユーザーに対する消耗品販売等を行っているPOSシステムソリューションから構成されております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受注済案件等のシステム導入計画に対する延期が発生し、大きな影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のシステムソリューション事業の売上は43,399千円(同69.8%減)、セグメント利益は7,089千円(同72.8%減)となりました。

(物流ソリューション事業)

当社グループでは、外食チェーン企業等に対する物流ソリューション(3PL: サードパーティロジスティクス=企業の流通機能全般を一括して請け負う)やマーチャндаイズソリューション(コンサルティング、コーディネート)、本部業務代行(伝票処理、受発注代行、商品管理)等のソリューションサービス事業を展開しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の物流ソリューション事業の売上は511,891千円(同2.4%減)、セグメント利益は49,276千円(同1.1%減)となりました。

(太陽光発電事業)

当社グループでは、2015年2月より栃木県那須塩原市、栃木県那須町にて2拠点、2016年2月より宮城県仙台市にて1拠点において、太陽光発電設備による電力会社への売電事業を行っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の太陽光発電事業の売上は58,564千円(同8.1%減)、セグメント利益は28,515千円(同2.9%減)となりました。

(その他事業)

当社グループでは、2009年8月より、直営の外食店舗を社員により行っております。社員による運営により、店舗運営ノウハウの社員研修、情報システム開発、新システムのテストマーケティング等に活用しております。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休業要請により、福岡にありますゴルフバー1店舗は4月より休業しておりましたが、5月の緊急事態宣言解除後より営業再開、および東京の居酒屋業態におきましては時短営業ならびにテイクアウト販売にて事業活動の推進に務めてまいりました。このような結果、店舗の売上は、前年比で5月は86.5%減、6月は54.6%減、7月は42.9%減となっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間のその他事業の売上は28,339千円(同52.6%減)、セグメント利益は21,907千円(同54.4%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて116,463千円減少し、3,320,688千円となりました。主な増減は、売掛金の減少11,933千円、機械及び装置の減少24,689千円、貸倒引当金(長期)の増加47,892千円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて29,998千円減少し、254,208千円となりました。主な増減は、買掛金の減少17,672千円、その他流動負債の減少5,174千円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて86,465千円減少し、3,066,479千円となりました。主な増減は、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少89,166千円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内外の経済活動の先行きは不透明な状況にあります。当社グループの対面する外食産業においては事業環境の大きな変化に伴いシステム・設備投資計画が延期される傾向にあり、2021年1月期第2四半期連結累計期間末日時点で当社グループの事業展開に影響を与えています。感染拡大の今後の収束時期は未だ不確定であり、合理的に算定することが困難であることから2021年1月期の業績予想は引き続き未定とさせていただきます。

今後の収束見通しなどを踏まえた上で連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

なお、現時点で2021年1月期配当予想の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,179,965	2,189,281
売掛金	264,431	252,497
商品	92	532
原材料	1,379	622
その他	16,089	18,447
貸倒引当金	△1,155	△1,589
流動資産合計	2,460,803	2,459,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,091	26,522
機械及び装置(純額)	444,621	419,932
その他(純額)	18,632	14,238
有形固定資産合計	501,345	460,693
無形固定資産		
投資その他の資産	194,596	168,491
投資その他の資産		
投資有価証券	16,818	11,284
長期貸付金	297,913	297,913
その他	159,791	164,521
貸倒引当金	△194,117	△242,009
投資その他の資産合計	280,406	231,710
固定資産合計	976,348	860,895
資産合計	3,437,151	3,320,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	160,990	143,317
未払法人税等	42,558	35,325
賞与引当金	2,100	2,100
その他	71,531	66,356
流動負債合計	277,180	247,099
固定負債		
資産除去債務	7,026	7,108
固定負債合計	7,026	7,108
負債合計	284,206	254,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	410,515	410,515
資本剰余金	221,274	221,274
利益剰余金	2,519,692	2,430,526
自己株式	△264	△264
株主資本合計	3,151,218	3,062,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,701	-
その他の包括利益累計額合計	△2,701	-
新株予約権	4,427	4,427
純資産合計	3,152,945	3,066,479
負債純資産合計	3,437,151	3,320,688

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年7月31日)
売上高	1,223,438	1,037,980
売上原価	770,384	665,088
売上総利益	453,053	372,892
販売費及び一般管理費	317,798	279,207
営業利益	135,255	93,684
営業外収益		
受取家賃	240	272
受取利息	31	31
受取配当金	372	-
保険解約返戻金	-	554
還付加算金	2,169	-
受取給付金	-	1,800
雑収入	304	719
営業外収益合計	3,118	3,378
営業外費用		
支払利息	31	34
営業外費用合計	31	34
経常利益	138,341	97,028
特別損失		
減損損失	-	10,298
投資有価証券評価損	-	9,427
貸倒引当金繰入額	-	47,892
特別損失合計	-	67,618
税金等調整前四半期純利益	138,341	29,410
法人税、住民税及び事業税	49,034	31,041
法人税等調整額	△1,243	△6,711
法人税等合計	47,790	24,330
四半期純利益	90,551	5,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,551	5,080

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	90,551	5,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,901	2,701
その他の包括利益合計	△1,901	2,701
四半期包括利益	88,650	7,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,650	7,781
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	138,341	29,410
減価償却費	57,819	60,093
貸倒引当金の増減額(△は減少)	665	48,326
受取利息及び受取配当金	△404	△31
支払利息	31	34
減損損失	—	10,298
投資有価証券評価損益(△は益)	—	9,427
売上債権の増減額(△は増加)	28,441	11,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,679	317
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,772	△17,672
その他	1,254	△12,259
小計	218,697	139,877
利息及び配当金の受取額	404	31
利息の支払額	△31	△34
法人税等の支払額	△39,526	△32,855
法人税等の還付額	6,967	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,510	107,019
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600,000	△600,000
定期預金の払戻による収入	600,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△6,668	△3,376
無形固定資産の取得による支出	△47,766	△258
その他	△1,011	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,447	△3,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△93,154	△94,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,154	△94,069
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,908	9,315
現金及び現金同等物の期首残高	1,444,425	1,579,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,482,334	1,589,281

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 定時株主総会	普通株式	94,025	7.4	2019年1月31日	2019年4月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月28日 定時株主総会	普通株式	94,247	7.4	2020年1月31日	2020年4月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年7月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ASP事業	システム ソリューション 事業	物流 ソリューション 事業	太陽光 発電事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	431,691	143,580	524,659	63,751	1,163,682	59,755	1,223,438	—	1,223,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,687	—	10,859	—	19,546	—	19,546	△19,546	—
計	440,378	143,580	535,519	63,751	1,183,229	59,755	1,242,984	△19,546	1,223,438
セグメント利益	299,724	26,072	49,844	29,369	405,010	48,042	453,053	△317,798	135,255

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食店舗事業であります。  
 2 セグメント利益の調整額△317,798千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年7月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ASP事業	システム ソリューション 事業	物流 ソリューション 事業	太陽光 発電事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	395,785	43,399	511,891	58,564	1,009,641	28,339	1,037,980	—	1,037,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,440	—	10,690	—	18,130	—	18,130	△18,130	—
計	403,225	43,399	522,582	58,564	1,027,771	28,339	1,056,111	△18,130	1,037,980
セグメント利益	266,103	7,089	49,276	28,515	350,985	21,907	372,892	△279,207	93,684

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に外食店舗事業の運営を行っております。  
 2 セグメント利益の調整額△279,207千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、連結子会社である株式会社JPパワーで展開する直営の外食店舗の内1店舗について休業の状況にあり、今後の事業見通しを踏まえて検討した結果、当該店舗の内部造作、店舗設備等の固定資産に対して当第2四半期連結累計期間に減損損失10,298千円を特別損失に計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。